

平成29年度決算と平成30年度上半期の収支状況

市の財政がどのような状況にあり、皆さんが納めた税金や国・県からの支出金などが、どのように使われているのを知っていただくため、財政状況の公表をしています。平成29年度の詳しい決算内容は市ホームページでご覧いただけます。☎ 財政課・内線236、水道局経営課☎7184-0114

平成29年度 決算

普通会計

歳入から歳出を差し引いた現金収支の額は、9億6519万円となり、平成30年度へ繰り越しました。また、翌年度に繰り越された事業に必要な財源として1億9510万円を控除した実質的な繰越額(実質収支)は、7億7009万円となりました。

◎歳入(収入)

前年度に比べ10億9866万円(前年度比2.8%減)の減額となりました(図1)。

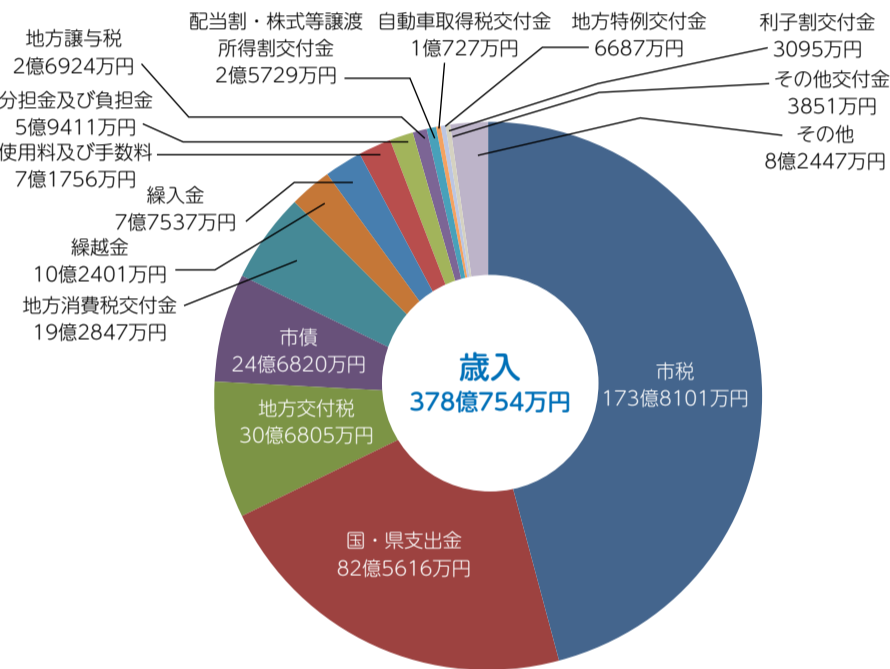
【減額となった項目】

- 繰入金…財政調整基金からの繰入が減額となったことなどにより、6億1197万円(前年度比44.1%減)の減額
- 市債…臨時財政対策債が増額となったものの、成田線新木駅舎などの整備が完了したことなどにより3億3870万円(前年度比12.1%減)の減額

【増額となった項目】

- 国・県支出金…私立保育園の開園などに伴い児童保護費等負担金が増額したことなどにより国庫支出金は、1億1943万円(前年度比2.1%増)、県支出金は、2億4228万円(前年度比11.2%増)の増額

図1 平成29年度 普通会計歳入(収入)決算



歳入の説明
市税…市民税、固定資産税、軽自動車税など
国・県支出金…国や県から特定の事業を実施するために交付されるもの
地方交付税…国から使い方を特定せずに交付されるもの
市債…市の事業を実施するために必要な国や金融機関などからの借入れ
地方消費税交付金…消費税の1.7%相当額が国から県に交付され、その2分の1相当額が市に交付されるもの
繰越金…前年度決算で生じた剰余金のうち、平成29年度の歳入になるもの
繰入金…弾力的な資金運用を行うため、基金や特別会計から繰り入れるもの
使用料及び手数料…市の施設や行政サービスを利用した時の料金
分担金及び負担金…特定の事業を行うことにより利益を受ける団体や個人から徴収するもの
地方譲与税…本来市税となる税源をいったん国税として徴収し、市に譲与されるもの
配当割・株式等譲渡所得割交付金…県から株などの配当や譲渡所得に対して交付されるもの
自動車取得税交付金…県に納付された自動車取得税の一定割合が県から市に交付されるもの
地方特例交付金…地方税の減収補てんのために交付されるもの
利子割交付金…預金などの利子所得の課税に対して県から交付されるもの
その他交付金…ゴルフ場利用税・交通安全対策の各交付金の合計
その他…財産収入・寄附金・諸収入の合計

特別会計

特定の事業を行うため一般会計と区別して経理する会計です(表1)。

表1 平成29年度 特別会計決算

区分	内容	収入額	支出額
国民健康保険事業	国民健康保険事業を運営するための会計	153億9445万円	146億4992万円
公共下水道事業	下水道を維持・建設するための会計	35億7067万円	32億6652万円
介護保険	介護保険事業を運営するための会計	94億3496万円	90億9783万円
後期高齢者医療	後期高齢者医療保険事業を運営するための会計	18億8616万円	18億4298万円

◎歳出(支出)

前年度に比べ10億3983万円(前年度比2.7%減)の減額となりました(図2)。

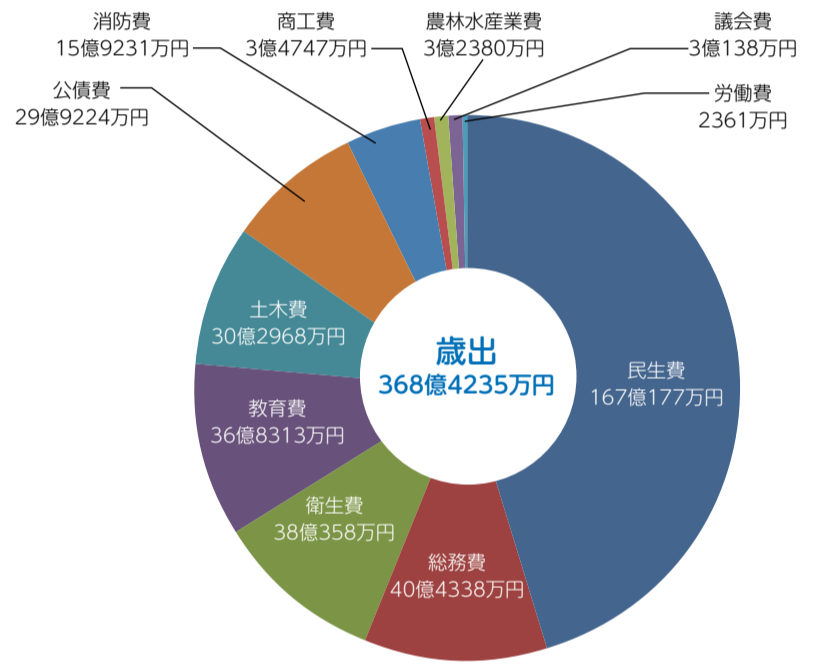
【減額となった項目】

- 総務費…成田線新木駅舎などの整備が完了したことなどにより10億7292万円(前年度比21.0%減)の減額
- 衛生費…手沼沿親水広場施設改修工事が完了したことなどにより3億351万円(前年度比7.4%減)の減額

【増額となった項目】

- 民生費…国民健康保険事業特別会計への繰出金や、私立保育園運営費補助金が増加したことなどにより、5億9426万円(前年度比3.7%増)の増額

図2 平成29年度 普通会計歳出(支出)決算



歳出の説明
民生費…高齢者や障害者、児童などの社会福祉に要する経費
総務費…市の管理的経費と近隣センターなど他に区分できない経費
衛生費…病気予防のための各種検診、環境対策、ごみ処理などに要する経費
教育費…小・中学校の運営や社会教育事業、図書館・市民体育館などに要する経費
土木費…道路や公園の整備、排水対策などに要する経費
公債費…市債として借りた資金に利子を付けて返済する経費
消防費…防火や救急業務などに要する経費
商工費…商業や工業の振興、観光事業、消費生活の改善などに要する経費
農林水産業費…地産地消の推進など農業の振興や農業委員会の運営に要する経費
議会費…議員の報酬や議会事務など、議会活動に要する経費
労働費…普通会計決算上だけの分類で、失業対策や雇用促進などに要する経費

水道事業会計

事業に必要な経費を水道料金収入で賄う「独立採算制」です。

収益的収支の収益は、前年度と比べ1.1%の増収となりました。また、費用は、動力費や修繕費などの経費が増加し、前年度と比べ1.9%の増加となりました。なお収益的収支は、平成29年度も黒字となりました。

資本的収支の収入では、負担金の収入がありました。支出は配水管の新設工事、計画に基づく経年設備の更新工事などの改良工事を実施しました。なお、資本的収支の不足額は、減価償却費などを積み立てた内部留保資金などで補てんしました(表2)。

表2 平成29年度 水道事業会計決算

収益的収支(税抜き)			資本的収支(税込み)	
経営活動に伴う収支で、収益は主に水道料金、長期前受金戻入益、費用は人件費、受水費、動力費、修繕費、委託料、減価償却費など			水道施設の建設や改良などの収支で、収入は負担金、支出は建設・改良工事費や企業債償還金など	
収益	費用	当年度純利益	収入	支出
26億635万円	22億5844万円	3億4791万円	912万円	8億9582万円

<ピクトグラム>シンプルなマークで記事の情報を伝えます

- …パブリックコメント
- …お知らせ
- …お出かけ
- …講演・講座・教室
- …募集
- …健康・検診
- …予防接種